

2021年2月5日  
(株)ベネッセホールディングス

## **2021年3月期 第3四半期決算 FAQ**

2021年3月期 第3四半期決算発表に関して、株主・投資家の皆様から想定されるご質問内容をまとめました。決算短信および決算補足資料とあわせてご覧ください。

### **対計画について**

#### **1. 第3四半期は、計画に対してどうだったか？**

第3四半期は、売上、営業利益ともに計画に対して増収増益となりました。国内教育事業を中心に計画を上回っています。

### **「進研ゼミ」および国内「こどもちゃれんじ」**

#### **2. 足元の会員数の状況について。**

今期は、4月会員数の好調なスタート（対前年+3.3%）に始まり、教材活用率の向上により会員の継続率が着実に上がっていることから、足元も引き続き順調に推移しています（第3四半期の延べ在籍数：対前年+6.9%）。

### **学校向け教育事業、学習塾・英語教室事業**

#### **3. 足元の状況について。**

第1四半期は、新型コロナウイルス感染症の影響による学校休校や学習塾・英語教室の営業自粛に伴い、前年同期比で大幅な減収減益となりましたが、前回（5月）緊急事態宣言解除後は、回復基調となっております。

### **中国「こどもちゃれんじ」事業**

#### **4. 足元の状況について。**

中国事業は、決算日が12月末日です。第1四半期（1~3月期）は新型コロナウイルス感染症の影響が大きく出ましたが、第2四半期以降は新型コロナウイルス感染症の事業影響は縮小しています。

## 介護・保育事業

### 5. 足元の状況について。

第1四半期（4～6月期）は、新型コロナウイルス感染症の影響により、営業活動を縮小していた影響が出ていましたが、7月からは徐々に営業活動を再開しました。しかし、1月の緊急事態宣言により、再び営業活動については慎重にならざるを得ず、入居率の回復に向けては依然として厳しい状況が続くことが見込まれます。

## ベルリッツ事業

### 6. 足元の状況について。

Berlitz Corporation は決算日が12月末日です。新型コロナウイルス感染症の影響は、第1四半期（1～3月期）は限定的でしたが、第2四半期以降、語学教育事業におけるランゲージセンターの一時閉鎖、及び ELS 事業（留学支援事業）における米国の大学キャンパスの閉鎖に伴う営業活動停止等により、大きく影響を受けています。しかし、第2四半期（4～6月期）を底に、前年同期比での減収幅は縮小傾向にあり、改善に向かっていきます。

## 通期の業績見通しについて

### 7. 第3四半期(10～12月期)は営業利益が対前年でプラスに転じたにもかかわらず、第4四半期（1～3月期）は、大幅な減益予想となっているのはなぜか？業績見通しは変えないのか？

第4四半期（1～3月期）においては、各事業の販売費、オフィス・IT 投資、海外 R & D 費用等、次年度に向けた戦略的投資の拡大を計画しているため、減益となる見込みです。このため、通期の見通しについては変更しておりません。